

東日本大震災から1年が経ちました。被災地ではがれき撤去作業が続けられています。しかし、福島第一原子力発電所の近くでは全く手つかずの状態です。まだまだ支援が必要な状況です。

被災地では震災や原発事故によっていまだ34万人ものひとびとが避難生活を強いられています。商店、工場、漁港が流され、事業が行えず、仕事を失い、いまだに職につけない人が多数残されています。その中で失業手当が打ち切られています。

災害からの復興のためには、事業再開の支援と働く場所の確保が求められています。そうしたなかで、漁民組合の結成や仮設商店街の設置など復興の兆しも見え始めています。

一方で両親や、父親か母親が亡くなったり行方不明になっている未就学から大学生の人数は2,000人を超えていると言われています。親戚に育てられている子どもも少なくありません。



名古屋大学職員組合は昨年の震災直後から、被災者に対する義援金募金に取り組んできました。

震災から1年が経過した今、教育研究機関に働き学ぶ者として、今回は、被災した遺児の就学を援助するために、奨学金募金に取り組んでいます。皆さんのご協力をお願いします。

奨学金募金の送り先は、被災遺児の奨学金の寄附を受け付けている、福島、岩手、宮城各県の基金です。

<今後の募金活動予定>

1. 昼休み食堂前募金活動
1) 日時 3月16日(金)12:10~12:30
場所 理系食堂前
2) 日時 3月23日(金)12:10~12:30
場所 北部食堂前
3) 日時 3月30日(金)12:10~12:30
場所 南部食堂前
2. 卒業式豊田講堂前募金活動
日時 3月26日(月)12:30~12:50
場所 豊田講堂前テラス
3. 入学式豊田講堂前募金活動
日時 4月5日(木)12:10~12:30
場所 豊田講堂前テラス
4. 職場内募金活動
組合員の方を通じて募金袋を職場内で回覧いたします。御協力いただけます。幸いです。
期間 4月末まで

3月6日(火)から8日(木)の昼休み食堂前募金活動と、一部職場及び組合事務所での募金により、これまで 85,276円の募金が寄せられました。
これまでのご協力に感謝申し上げます。